



2007年7月1日  
第6号  
発行  
日本共産党県議会議員  
渡辺ゆり子  
<連絡先>  
日本共産党県議団執務室  
電話 023-630-3241  
自宅:山形市青田2-10-5  
電話 023-642-2365

### 後期高齢者医療制度とうなる

#### 山形県社保協が県と懇談

六月二十一日、山形県社会保険推進協議会は、県健康福祉部担当者と懇談を行い、渡辺ゆり子県議も同席しました。内容は、後期高齢者医療保険制度、地域ケア整備計画、特定健診保健指導の三項目にわたっています。

六月二十一日、山形県社会保険推進協議会は、県健康福祉部担当者と懇談を行い、渡辺ゆり子県議も同席しました。内容は、後期高齢者医療保険制度、地域ケア整備計画、特定健診保健指導の三項目にわたっています。

そこでなされる。県は、指導機関の立場となる」と答えました。

六月二十一日、山形県社会保険推進協議会は、県健康福祉部担当者と懇談を行い、渡辺ゆり子県議も同席しました。内容は、後期高齢者医療保険制度、地域ケア整備計画、特定健診保健指導の三項目にわたっています。

### 飲酒運転の村山県議に辞職求める

#### 日本共産党村山地区委員会、同山辺町委員会、同中山町支部

六月十九日、日本共産党村山地区委員会と同山辺町委員会、同中山町支部は、渡辺ゆり子県議同席のもと、飲酒運転で摘発された村山隆県議に辞職を求める申し入れを行いました。

六月十九日、日本共産党村山地区委員会と同山辺町委員会、同中山町支部は、渡辺ゆり子県議同席のもと、飲酒運転で摘発された村山隆県議に辞職を求める申し入れを行いました。

### 山形南党後援会 新緑のつどい に参加

六月十七日、山形南日本共産党後援会は「新緑のつどい」を開き、渡辺ゆり子県議が出席し、あいさつで県議会報告と参院選での勝利を訴えました。

六月十七日、山形南日本共産党後援会は「新緑のつどい」を開き、渡辺ゆり子県議が出席し、あいさつで県議会報告と参院選での勝利を訴えました。



### 核兵器なくそう 憲法9条守ろう

平和行進に渡辺ゆり子県議が参加



六月十九日、二〇〇七年原水爆禁止国民平和行進に参加しました。八月六日、広島をめざして、核兵器廃絶を訴えて行進しています。渡辺ゆり子県議も横断幕を持ち、第二公園から山形市役所前まで元気に歩きました。

### 高橋ちづ子衆院議員迎え 街頭演説会



六月二十四日、山形市七日町で高橋ちづ子衆院議員を迎え、日本共産党街頭演説会が行われました。

渡辺ゆり子県議が司会を行い、はじめに佐藤まさゆき参院選挙区候補が演説。出産翌日から出勤を強要された女性の話を紹介し、「格差をなくし、若者が人間らしく働ける社会を」と訴えました。続いて、高橋ちづ子衆院議員が演説。年金問題で互いの揚げ足取りに終始していた自公・民主の姿と対比し日本共産党の姿を明らかにし、「参院選で大きくしてほしい」と力強く訴えました。



### 紙智子の かけあるき

過去の侵略戦争を正当化する「靖国派」の動きが、さまざまな形で表に出ています。日本青年会議所が作成したDVD「誇り」も、日本の侵略戦争を賛美し歴史を歪曲する靖国神社の遊就館などの展示物と同じ内容のもので、文部科学省の委託事業で学校上映を計画していました。しかし、わが党の石井郁子さんの質問をきっかけに、世論

の批判を受けて、青年会議所は契約を辞退しました。

また、沖縄戦における集団自決について、文部科学省が教科書検定で「軍の強制」はなかったと削除・修正させました。しかし沖縄県議会が、全会一致で政府にその撤回を求める意見書を可決しました。

従軍慰安婦問題でも「強制連行はなかった」と、自民・民主議員など44人が名を連ねて米国紙への意見広告を掲載しましたが、これに対する批判・怒りは世界中から起こり広がっています。「靖国派」の動きに、選挙で日本共産党を伸ばして厳しい審判を!